



新潟県立佐渡中等教育学校
学校だより 令和7年度4月号
HP: <http://www.sado-ss.nein.ed.jp>

佐渡中等教育学校 第18回 入学式

令和7年4月7日(月)、第18回入学式が挙行され、18期生19人を迎え入れました。新入生はこの3月まで小学生でしたので、まだ初々しく、真新しい制服が体に馴染むのはこれからという生徒も多くいました。担任の先生から一人一人呼名され、石川校長より入学が許可されました。保護者の皆様、来賓の方々、学校職員に見守られる中、新入生全員が決意を新たに式に臨みました。その後、新入生を代表して、「誓いの言葉」がありました。最後に写真撮影を行い、終始和やかな雰囲気で行うことができました。



「誓いの言葉」 新入生代表 やまもと 山本 いろは 彩華さん

日ごとに春の訪れを感じるようになった良き日、私たち十九名は、佐渡中等教育学校の一員になることができました。新入生一同、誠にうれしく思います。

本日は、私たち新入生のためにこのような素晴らしい入学式を挙行していただき、心から感謝いたします。校長先生をはじめ、ご来賓の皆様、先生方、私たちを温かく迎え入れてくださり、誠にありがとうございます。私たちは、これからの学校生活への期待や希望を胸にいだき、佐渡中等教育学校で過ごす六年間を貴重な体験・学びにしたいと思います。六年間を過ごすうえで、大きな壁にぶつかり、前に進むことができなくなるのではないかと新しい環境で生活するうえで不安もあります。しかし、私たちは失敗をおそれず仲間と協力しながら全力で取り組んでいきます。また、どんな困難に直面しても先生方や先輩方の力を借り、立ち向かう努力をしていきます。

さて、世界に目を向けると戦争が長く続いている国、貧困や物資不足などで「当たり前の生活」をすることが困難な国などが多くあり、深い悲しみを感じます。世界がそのような状況でも私たちはこのめぐまれた環境で勉強をしたり、友達と楽しく話したり遊んだりできることに深く感謝しなければいけないと思います。そのため、現状を悪化させないために日頃から自分たちにできることを考え、工夫して生活する必要があると思います。

今日からの六年間は、佐渡中等教育学校の生徒としての自覚をもち、仲間と協力し合い、日常の生活が平和に送れることに感謝し、一日一日を大切にしていきたいです。

最後になりますが、校長先生をはじめ、先生方、先輩方には色々な面でご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、その時は厳しく、時には温かくご指導くださいますよう、よろしく願います。また、おいそがしい中、入学式においでくださった皆様、いつも私たちを温かく見守り支えてくださる保護者の皆様、ありがとうございます。ぜひ、私たちが成長する姿を温かく見守っていただけると幸いです。

私たちは、これから佐渡中等教育学校の生徒として、お互いに良い影響をあたえ合い、それぞれの夢に向かって一人一人が努力し、実りある学校生活を送ることを表明し、誓いの言葉とさせていただきます。

令和七年四月七日
新入生代表 山本 彩華

始業式 校長講話

皆さん「おはようございます」。この長期休業の間、どのように過ごしたでしょうか？

佐渡中等での学校生活は、上級学校へ進むため、そして、自立した社会人になるための大切な準備期間です。ぜひ新年度の目標を設定して、よいスタートを切ってください。

6年生の皆さんは、志を遂げて、晴れやかに卒業の日を迎えることができるよう、進路希望達成に向けて具体的な目標設定をしてください。

5年生の皆さんは、進路目標が定まっているでしょうか？時間は有限です。日々の学習を怠りなく続けると同時に、将来の夢や職業に見合った進路選択に向けて具体的に行動してください。

3、4年生の皆さんは、次へのステップになるよう、学習や課外活動の目標を立てて、積極的に取り組むようお願いします。

2年生の皆さん、佐渡中等に入学して1年が経ちました。今日から先輩として、新入生のお手本となるように学習や課外活動に取り組みましょう。

さて、年度のはじめにあたり、物事に「いっしょうけんめい」取り組むことについてお話したいと思います。当たり前のことを言う校長だなあという人もいるかもしれませんが、物事に懸命に取り組むことは、なかなか難しいことだと思います。国語の授業で、「徒然草」を読んだことがありますか？吉田兼好の書いたこの古典には、さまざま教訓が書かれていて興味深いです。「いっしょうけんめい」に関わる記載もあります。

弓道の初心者が矢を射るに際して、複数の矢をもって練習していると、その師匠が、次のように諭したと記されています。「初心の人、二つの矢を持つ事なかれ。後の矢を頼みて始めの矢に等閑（なおざり）の心あり」この意味は、「弓の初心者は、矢を射るとき二本の矢を持ってはならない。最初の矢をいっ加減にしよう」ということです。

次の機会がある、と思っていると、人間だれしも、どうしても油断が生じてしまいます。

近年、「いっしょうけんめい」の漢字表記は、「生きる」という字を用いて、「一生懸命」とすることが一般的です。かつては、所（ところ）、場所の所（しょ）を用いて、「一所懸命」と綴っていたことをご存じでしょうか？「ひとところに懸命になる」ということです。

集中して、何かに取り組むことは、そうたやすいことではありません。

スポーツに親しむ人は、ワンプレーに集中すること、「一球入魂」することは、鍛錬していないと難しいことを、実感していると思います。

一所懸命になることができれば、その時々、場面・場面で、周囲の環境に惑わされることなく、誰もが主人公になれるのです。

「世界は舞台、人は皆、役者」と有名な言葉を残した文豪がいます。その一場面、一場面、新たな段階で主人公となり、果たすべき役割・新しい課題に一所懸命に取り組むことが大切です。

中等教育学校の生徒として、与えられた時間は限られています。その時々、時宜（じぎ）を逸せず、学習でも部活動でも、「一所懸命」に取り組むことを続けることが、力になります。

存分に心と身体を鍛えて、将来に備える1年となるよう期待して、年度はじめの挨拶とします。

ようこそ佐渡中等へ！ 赴任された先生方からのメッセージ

つばき まさひろ 椿 昌宏 教頭先生（前期課程）

佐渡市立金井中学校より参りました。様々な特色ある教育活動を行っている佐渡中等教育学校に勤務できることを大変うれしく思います。生徒の皆さんが目標に向かって日々努力し、仲間とともに力を高めながら、充実した学校生活が送れるよう、前期課程教頭としての役割を果たしたいと思います。保護者の皆様には、PTA活動や学校行事などでお世話になります。出身は佐渡（松ヶ崎）、趣味はスポーツ観戦です。よろしくお願いします。



いしい みつあき 石井 満明 先生（1学年 副担任）

皆さん初めまして。羽茂高校より参りました、石井満明と申します。教科担当は理科です。3年前、米農家の後継ぎとして佐渡へ移住し、島暮らしもようやく板についてきました。

生き物、特に昆虫が大好きなので、一步外に踏み出すだけで豊かな自然とふれ合うことのできる佐渡の環境は、とても気に入っています。理科の授業を通して、生徒の皆さんにも佐渡の自然・生き物の素晴らしさについてお伝えしていければと思っています。どうぞよろしくお願いします。



さとう りょうたろう 佐藤 良太郎 先生（地歴公民、3年1組担任、陸上競技部）

長岡高校から参りました佐藤です。小学6年生の修学旅行以来、13年ぶり2回目の佐渡となります。佐渡の伝統や文化、歴史を皆さんに教えられ、また共に学びたいと考えています。それから、佐渡のおすすめのご飯屋さんも教えてください。

この学校で共に学び、悩み、考え、楽しく過ごせたらと思っています。どうぞよろしくお願いします。



わかばやし ゆうすけ 若林 祐輔 先生（国語、4年1組担任、バスケットボール部）

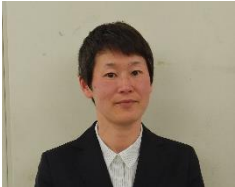
上越の高田高校から参りました。国語科の若林祐輔と申します。実は、佐渡に来るのは初めてではなく、幼い頃に学校のすぐそばの祖父母の家に、夏休みに遊びに来ていました。しばらく足が遠のいていましたが、今回久しぶりに来ることができて懐かしさを感じています。子どもの頃には気がつかなかった佐渡の歴史や文化について、私も皆さんと同じように学ぼうと思っています。よろしくお願いします。



たけだ みよこ 竹田 美代子 先生（数学、5年1組担任、バレーボール部）

佐渡高校から参りました佐渡出身の竹田です。佐渡中等教育学校に赴任してきて早々に校章に込められた願いを知りました。みなさんの持っている∞の可能性を少しでも引き出すお手伝いのできたらと思います。

新しい学校に来て不安もありますが、ワクワクする気持ちが強いです。中等は学習活動や部活動はもちろん、様々な学校行事から学ぶ機会が多いことが魅力だと思います。みなさんと一緒に学べることを楽しみにしています。よろしくお願いします。



今までありがとうございました！ 離任された先生方からのメッセージ

引野 太 教頭先生（前期課程）

佐渡中等教育学校では、1年間お世話になりました。時間的には短いですが、生徒の皆さんの頑張る姿やPTA活動を通じて、保護者の皆様とたくさん関わることができ、私にとっては、本当に素晴らしい時間を過ごすことができました。最後に、大好きな佐渡中等教育学校を離れますが、これからも皆さんの活躍を心から願っています。1年間、ありがとうございました。

三國 稔男 先生（社会、旧4年1組担任、バレーボール部）

4年間、お世話になりました。皆さんと会えて、とても幸せでした。「ラッキー」は私に関係する深い言葉です。不幸な出来事に直面した際にどのように視点を変えてポジティブに捉えられるか、どれだけ日頃から目の前の物事に向き合い考え抜き、チャンスに遭遇した際に果実を手に入れる準備をしてきたか、これによってラッキーは必然になると確信しています。「人事を尽くして天命を待てば海路の日和あり」またどこかで会いましょう。

山田 広子 先生（英語、旧4年1組担任）

昨年度、どの学年の人たちがどのくらい英検に合格したと思いますか？集計してみると、1年生4%、2年生16%、3年生23%、4年生50%、5年生26%、6年生15%と、4年生が断トツ1位でした。海外研修という目標がその要因でしょう。目標の中身は問いません。目標を掲げその達成に向けて自分を動かす。胡麻化してしまいそうな時には公言するのがいいですね。私は今年も英検合格を目指します。…作文対策しなкゃ。佐渡総合高校からみんなの目標達成を応援しています。

濱辺 望 先生（数学、旧6年2組担任、バスケットボール部）

9年間で嬉しかったこと

- ・前期バスケ部、県大会出場！
- ・後期女バス、地区ベスト4、佐高に勝つ！
- ・〇〇さんが〇〇大学に合格！
- ・〇〇さんがテストで高得点！

9年間でつらかったこと

- ・〇〇さんが〇〇大学に受からず…
- ・前期バスケ部、県大会出場できず…
- ・後期女バス、万代高校に負ける…
- ・〇〇さん、鼻を骨折…
- ・〇〇さん、前十字靱帯断裂…

9年間、お世話になりました。

藍原 清巳 先生（国語、旧5年1組担任、吹奏楽部）

離任式のあいさつでの一つめ、選挙の投票に行ってください、という話の補遺として。図書室に岡田憲治『教室を生きる政治学』という本をリクエストしたことがあります。受入済。学校に限らず社会でも家でも、もちろん勉強においても、突き詰めるとそこには「政治」が存在しているように思います。構造というか力学というか、あるいはマネージメントというか、そんなことを時々考えてみることに、意味があると思っています。

福井 正治 さん（学校技術員）

毎日みなさんからの「おはようございます。」「こんにちは」は、私に元気を与えてくれました。

あいさつは、人を元気にしてくれます。

あいさつは、人としての原点だと思っています。どうぞ何処へいってもあいさつを忘れない中等生でいてください。

佐渡中等教育学校の先生方、生徒のみなさんに出会えて本当に楽しかった3年間でした。大変お世話になりました。